

第 56 回 日本消化器内視鏡学会東海支部例会 プログラム

日 時：平成 25 年 12 月 14 日（土）午前 9 時 00 分より

会 場：名古屋国際会議場 2号館
〒 456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1-1
TEL：052 - 683 - 7711

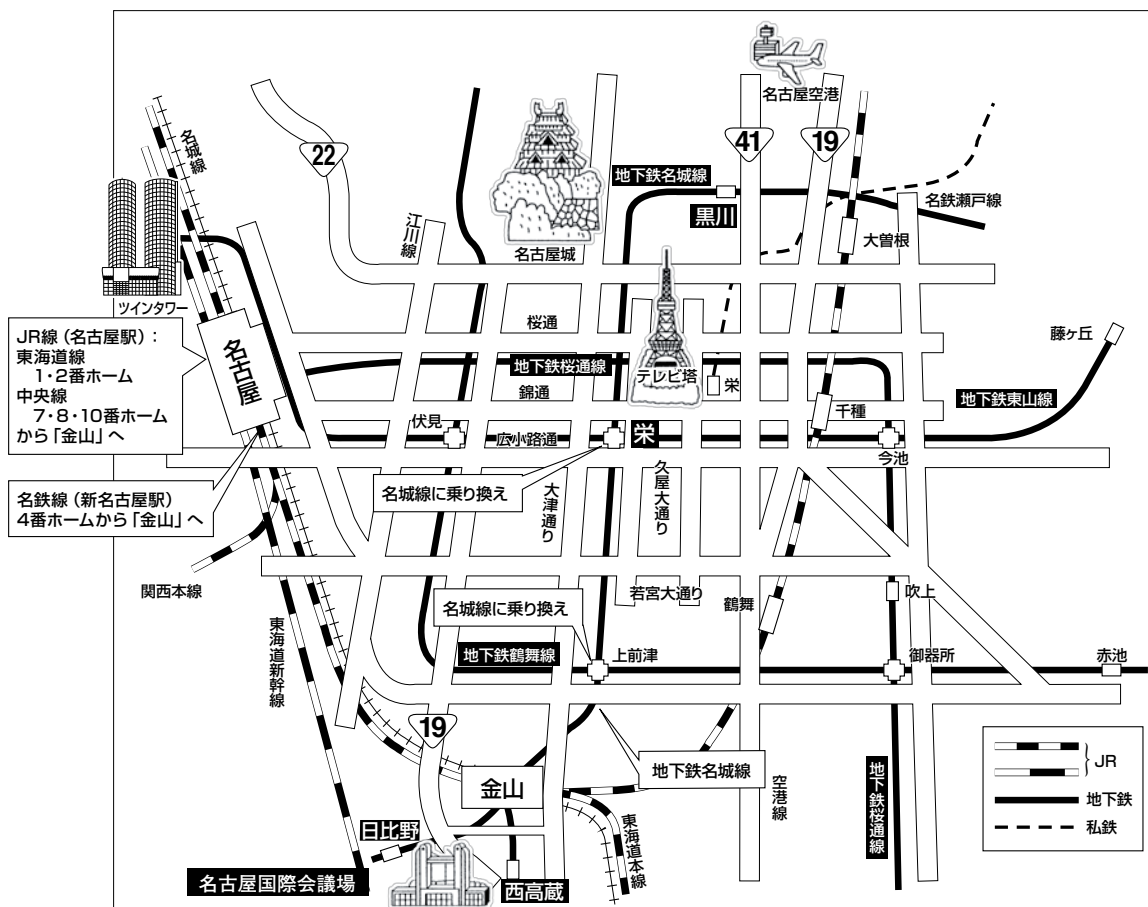
参加受付：2階 ロビー
P C 受付：2階・3階 ロビー
第1会場：2階 会議室 224
第2会場：2階 会議室 222+223
第3会場：3階 会議室 234
第4会場：3階 会議室 232+233
企業展示：1階 会議室 211+212
クローク：1階 会議室 211+212

会 長：大原 弘隆
名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学講座

【目次】

会場への交通のご案内	4
会場のご案内	5
タイムスケジュール	6
ご案内・お願い	7
プログラム	9
抄録	49
協賛企業一覧・企業展示一覧・広告	87

【会場への交通のご案内】



名古屋国際会議場までの交通案内

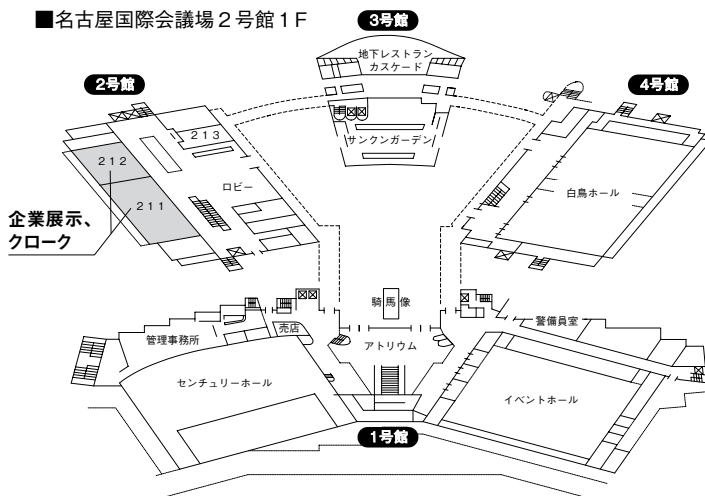
●新幹線等で名古屋へお越しの方は、JR名古屋駅で在来線「JR中央線」もしくは「JR東海道線」にお乗りかえの上、金山駅までお乗りつぎ下さい。
地下鉄名港線（「日比野」、「西高蔵」駅で下車）のご利用が便利です。

- ・JR・名鉄・金山総合駅から最寄り駅まで2分
地下鉄名城線（名古屋港行「日比野」下車1番出口から徒歩5分）
又は（金山・新瑞橋方面左回り「西高蔵」下車、2番出口から徒歩5分）
- ・JR・名鉄金山総合駅からタクシー約10分、約1,000円
- ・JR名古屋駅から最寄り駅まで約20分
地下鉄東山線「栄」乗りかえ、名城線（名古屋港行「日比野」下車、1番出口から徒歩5分）
又は（金山・新瑞橋方面左回り「西高蔵」下車、2番出口から徒歩5分）
- ・JR名古屋駅からタクシー約20分、約2,000円

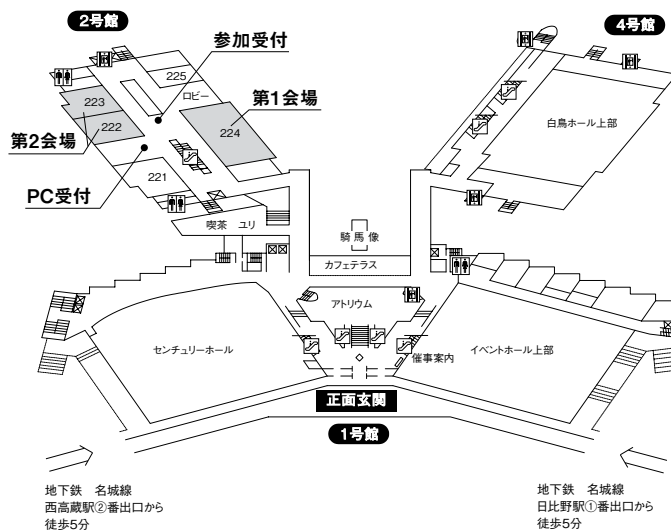
●中部国際空港で名古屋へお越しの方は、名鉄金山総合駅から地下鉄（「日比野」、「西高蔵」駅で下車）のご利用が便利です。

【会場のご案内】

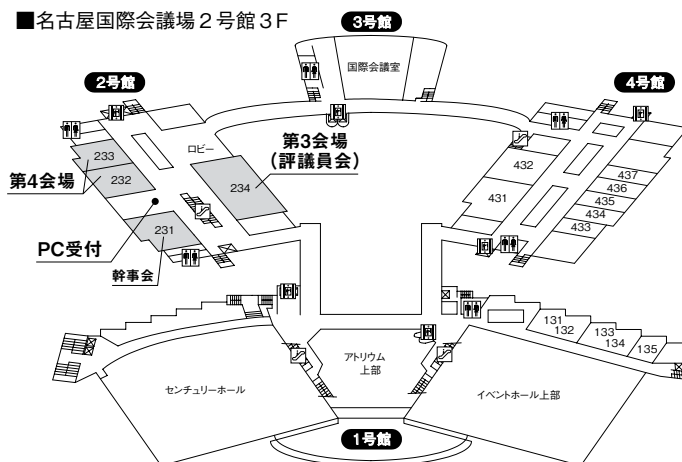
■名古屋国際会議場2号館1F



■名古屋国際会議場2号館2F



■名古屋国際会議場2号館3F



タイムスケジュール

	第1会場 2F 会議室 224	第2会場 2F 会議室 222+223	第3会場 3F 会議室 234	第4会場 3F 会議室 232+233	展示会場 1F 会議室 211+212	幹事会会場 3F 会議室 231		
	受付							
	開会の辞	若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション						
9:00	9:00~11:30 シンポジウム1 「消化管疾患における 内視鏡的診断・ 治療の工夫と進歩」 司会:丹羽康正 堀木紀行	9:00~9:54 胃1 Y1~6 座長:久保田英嗣	9:00~9:54 大腸1 Y11~16 座長:渡辺 修	9:00~9:36 膵臓1 Y21~24 座長:川嶋啓揮				
9:30				9:36~10:21 胆道1 Y25~29 座長:井上宏之				
10:00			9:54~10:30 食道1 Y7~10 座長:山田智則	9:54~10:30 十二指腸・その他 Y17~20 座長:平田慶和	10:21~10:48 小腸1 Y30~32 座長:小笠原尚高			
10:30			10:30~11:24 食道2 1~6 座長:滝沢耕平	10:30~11:15 胆道2 15~19 座長:黒上貴史	10:48~11:06 小腸2 31~32 座長:小笠原尚高			
11:00								
11:30							幹事会 11:00~11:30	
12:00		12:00~12:50 ランチョンセミナー1 講師:入澤篤志 司会:後藤秀実	12:00~12:50 ランチョンセミナー2 講師:豊永高史 司会:春日井邦夫	12:00~12:50 評議員会		企 業 展 示		
12:30				表彰式 12:50~13:05 総会 13:05~13:15				
13:00								
13:30		13:20~14:20 特別講演 講師:芳野純治 司会:城 卓志						
14:00								
14:30	14:30~17:00 シンポジウム2 「胆膵内視鏡における 診断・治療の 工夫と進歩」 司会:安田一朗 中沢貴宏	14:30~15:06 膵臓2 7~10 座長:三好広尚	14:30~15:24 胃2 20~25 座長:宮原良二	14:30~15:06 大腸2 33~36 座長:山田雅弘				
15:00		15:06~15:42 膵臓3 他 11~14 座長:内藤 格	15:24~16:09 胃3 26~30 座長:芳澤 社	15:06~15:51 大腸3 37~41 座長:丸山保彦				
15:30								
16:00								
16:30								
17:00	閉会の辞							

【ご案内・お願い】

○会場整理費

- ・本学会では、会場整理費として一人2,000円を参加受付にてお支払いいただきます。
- ・受付時に、ネームカード（兼領収証）、プログラム集をお渡し致します。

○演題発表

- ・パソコンによる発表となります。
- ・発表時間 一般演題……………口演 6分・討論 3分・スライド10枚以内
若手研究者優秀演題
奨励賞選定セッション……………口演 6分・討論 3分・スライド10枚以内
シンポジウム 1……………口演 6分、討論 3分、総合討論なし
シンポジウム 2……………口演 8分、総合討論あり
- ・発表時間30分前までにPC受付にて受付をしてください。
- ・USBフラッシュメモリー、CD-R以外のメディアでは受付できません。
※ファイル名は「(演題番号) (氏名)」とし、動画等のリンクデータを含むフォルダーも、ファイル名と同じフォルダー名としてください。
- ・演台上のキーボード、マウスにてご自身でスライドを進めてください。
- ・受付したデータは使用後、事務局にて責任を持って消去いたします。

○データ作成上の留意点

- ・会場PCのOSはWindows 7、ソフトはPower Point、2007、2010です。
- ・フォントはMSゴシック、MS明朝等、一般的なものをご使用ください。
- ・Macintoshにて作成の場合、事前にWindows上での動作確認と、Windows用にデータ変換を行った上でのご用意をお願いします。
- ・動画はWindows Media Playerで再生可能であるものに限定します。
- ・他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず元のデータも保存して頂き、事前に動作確認をお願いします。
- ・動作確認は作成に使用したPC以外のWindowsで行って下さい。
- ・データを保存する前に必ずウイルスのチェックを行って下さい。
- ・液晶プロジェクターの出力解像度はVGA（640 × 480）、SVGA（800 × 600）、XGA（1024 × 768）に対応しております。
- ・音声出力は使用できません。
(Windows 7又はMacintoshにて作成されたデータの場合は、PC本体を持参下さい。)

○座長の先生へ

- ・座長の先生は座長受付（参加受付併設）にてご出席確認をお済ませいただき各担当セッションの開始15分前までに会場内の次座長席におつき下さい。

○評議員会

日時：平成25年12月14日（土）12：00～12：50

会場：3階 会議室234

※昼食をご用意しておりますが、各自弁当代をご負担いただきます。

○表彰式

日時：平成25年12月14日（土）12：50～13：05

会場：3階 会議室234

○総会

日時：平成25年12月14日（土）13：05～13：15

会場：3階 会議室234

○企業展示、クローク

1階 会議室211+212 8：30～17：00

若手研究者優秀演題奨励賞について

医学部卒後5年以内の研修医（旧初期研修医）および専門医（旧後期研修医）を対象に若手医師が発表した演題の中から優秀演題に対して「若手医師研究奨励賞」を選定し、支部例会会長より賞状と奨励金を贈呈いたします。そのうち上位6名を翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待いたします。

今回は、対象演題を「若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション」にて順次ご発表いただき、審査員が発表内容などについて審査し、評議員会終了後に発表いたします。審査対象の先生方は、12時50分からの表彰式には第3会場にご参集いただきますようお願い申し上げます。

特別講演

『安全な内視鏡診療を求めて』

講師：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 内科 芳野純治
司会：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 城 卓志

2F 第1会場

13：20～14：20

特別講演

「安全な内視鏡診療を求めて」

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 内科

芳野純治

5年毎に行われる消化器内視鏡関連の偶発症に関する全国調査は1983年より開始され、第6回目が準備されている。この調査は第1回調査を春日井達造先生が、第2回調査から第4回調査を金子榮藏先生が、第5回調査は筆者を中心として行われ、東海支部とはなじみが深い。本調査により内視鏡診療における各種の問題が明らかにされ、指針が出されてきた。すなわち、側視型内視鏡による胆膵系の検査・治療と大腸内視鏡では、上部消化管内視鏡に比して偶発症とそれに伴う死亡率が高いことから、「内視鏡的逆行性膵胆管造影検査（ERCP）の偶発症防止のための指針（2000年）」、「大腸内視鏡検査の偶発症防止のための指針（2003年）」が作成されている。また、初期の調査では前処置による呼吸・循環器系の偶発症が多いことから、リスクマネージメント委員会から、「消化器内視鏡リスクマネージメント（2004年）」、「治療内視鏡に関するリスクマネージメント（2005年）」、「内視鏡治療時の抗凝固薬、抗血小板薬使用に関する指針（2005年）」として診断・治療時のリスクマネージメントを「推奨」という形でまとめられている。そして、卒後教育委員会より「消化器内視鏡ガイドライン」が1999年、2003年、2006年に発刊され、2012年に「消化器内視鏡ハンドブック」と「ガイドライン」から「ハンドブック」と名前を変えて出されている。

最近では、ガイドライン委員会より、エビデンスに基づいて「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」、「内視鏡診療における麻酔薬/鎮静薬に関するガイドライン」、「早期胃癌ESD/EMRガイドライン」、「食道癌に対するESD/EMRガイドライン」、「大腸ESD/EMRガイドライン」の企画が進められてきた。「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」は昨年7月に発表され、現在、英文化され本学会の英文誌に掲載される予定である。本ガイドラインでは日本循環器学会、日本脳卒中学会などの他学会と共同して作成されたが、この分野のエビデンスが十分でないことが明らかにされた。現在、医療安全委員会により本ガイドラインの検証が全国調査として行われている。また、「内視鏡診療における麻酔薬/鎮静薬に関するガイドライン」と「早期胃癌ESD/EMRガイドライン」では、ドラフトが公表され、パブリックコメントの募集が終了し、見直しが行われており、最終版が報告される予定である。

〈学歴および職歴〉

生年月日 昭和25年 2月18日生

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 病院長 消化器内科教授

学歴

昭和50年	名古屋大学医学部 卒業
	名古屋掖済会病院 内科医員
	名古屋大学第2内科 入局
昭和54年	名古屋大学第2内科 医員
昭和61年	同 助手
平成1年	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院内科 講師
平成2年	同 助教授
平成8年	同 教授
平成12年	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 副院長（兼務）
平成21年	同 病院長（兼務）

所属学会：日本消化器内視鏡学会（理事：医療安全委員会担当）、日本消化器病学会（執行評議員）、日本消化器がん検診学会（副理事長 東海北陸支部長）、日本内科学会（評議員）、日本高齢消化器病学会（理事）、日本大腸検査学会（理事）、日本がん検診・診断学会（副理事長）、他

ランチオンセミナー 1

膵疾患診療における超音波内視鏡の新たな役割
－早期慢性膵炎診断から膵癌診断・治療まで－

講師：福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座 入澤篤志
司会：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 後藤秀実

共催：第一三共株式会社

2F 第1会場

12：00～12：50

ランチョンセミナー1

膵疾患診療における超音波内視鏡の新たな役割 －早期慢性膵炎診断から膵癌診断・治療まで－

福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座

入澤篤志

現在の膵疾患診療において、超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-guided fine needle aspiration biopsy：EUS-FNA）は膵腫瘍性病変診断には必要不可欠な診断法と言っても過言ではない。また、この手技を応用した治療法も新たに開発されている。一方、従来から胆膵腫瘍に対するEUS画像診断の重要性は認識されていたが、2009年に改訂された慢性膵炎臨床診断基準においては早期慢性膵炎診断に不可欠な画像診断法として取り上げられている。EUSが臨床応用されて30年が経過したが、最近の機器発展と技術開発により、さらに新しい役割を持ち始めている。本セミナーでは以下の2項目について解説する。

1) 早期慢性膵炎診断

慢性膵炎は膵癌の危険因子であり、正常膵に比して20倍の発癌率とされている。その慢性膵炎を早期の段階で診断し医療介入を行うことはきわめて重要性が高い。「早期慢性膵炎」とは本邦の慢性膵炎臨床診断基準2009で世界に先駆けて導入された概念である。膵炎を疑わせる臨床症状や検査値異常、飲酒歴などの複数の因子を有し、早期慢性膵炎に特徴的な画像所見を呈する疾患群とされた。EUSは高解像度で至近距離から膵臓を観察できるため、早期慢性膵炎の画像診断に極めて有用な検査法である。膵実質内の点状・索状高エコー、分葉エコー、膵管壁高エコー所見が特徴的とされている。

2) EUS-FNA・EUS下治療

EUS-FNAは、膵腫瘍に対して経消化管的に極めて至近距離からエコーガイド下針生検を行うため、侵襲性はきわめて低く、正診率は90%以上と高い病理診断能を持つ。本手技が膵疾患診療に与えたインパクトは極めて大きく、従来は切除不能膵癌と考えられた症例は画像診断のみで化学療法が施行されていたが、現在では化学療法前にはEUS-FNAによって病理組織学的確証を得る事がコンセンサスになっている。また、膵腫瘍の進展度診断（リンパ節転移診断や悪性腹水診断など）にも大きく寄与する。

近年ではEUS-FNAの技術を応用した治療法も開発され、従来の方法に比して侵襲性も低いことも相まって急速に普及している。現在施行されているEUS下治療は、注入法およびドレナージ法に分類される。前者には癌性疼痛に対するEUS下腹腔神経叢ブロック、後者には膵炎に関連した膵仮性嚢胞・Walled-off necrosisや拡張胆管・膵管に対する経消化管的ドレナージがある。また、最近では膵癌治療への応用も行われており、EUS下治療は今後の更なる発展が期待できる分野と考える。

〈学歴および職歴〉

福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座 教授

学歴

平成1年3月	獨協医科大学卒業	
平成1年4月	福島県立医科大学医学部内科学第二講座入局	研修医
平成5年10月	同	副手
平成9年4月	同	助手
平成12年3月	フロリダ大学超音波内視鏡センター	Visiting faculty
平成13年2月	福島県立医科大学医学部内科学第二講座	助手
平成14年4月	同	講師
平成19年6月	同	准教授
平成21年4月	福島県立医科大学附属病院教授・低侵襲先端治療科部長	
平成22年4月	福島県立医科大学会津医療センター準備室	教授
平成25年5月	福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座	教授

ランチオンセミナー2

早期胃癌ESD時における諸条件
～基本・高周波設定条件から困難例の対処まで～

講師：神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部 豊永高史
司会：愛知医科大学 消化器内科 春日井邦夫

共催：エーザイ株式会社

2F 第2会場

12：00～12：50

ランチョンセミナー 2

早期胃癌ESD時における諸条件 ～基本・高周波設定条件から困難例の対処まで～

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部

豊永高史

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の開発により内視鏡的粘膜切除術（EMR）では切除困難であった病変の内視鏡的治療が可能になった。EMRがいわばPolypectomyの延長であったのに対し、ESDは病巣周囲粘膜を切開し粘膜下層を直接剥離するEndo-luminal surgeryとも言える手法である。理論的には大きさ・部位によらず病変の一括切除が可能である反面、技術的困難性や施行時間の長さ、重篤な偶発症への対処、普遍的なトレーニングシステムの構築が問題となっている。

ESDが困難な例は病変自体の難易度が高い、いわゆる剥離困難例と占拠部位に基づくアプローチ困難例に大別される。前者は癒痕、線維化を伴う病変や粘膜下層の血管が豊富で易出血性の病変である。後者は近接困難例や体部大彎、幽門輪、Fornixなどスコープ操作自体が困難な部位に病変が存在する症例である。粘膜下層の血管網は前庭部、体部小彎、体部前後壁及び大彎の各領域で大きく異なっている。体部大彎とくに体中・上部大彎にかかる病変は血管が豊富なうえアプローチも困難で代表的なESD困難例と言える。

これらの病変に対処する最大のコツは粘膜下層の横走血管網を適切に処理し血管網と固有筋層直間の粗な層に至ることである。この層は安全性を担保し手技を簡略化する点から最も適した剥離深度であると同時に粘膜下層の組織を十分に含んだ質の高い切除を可能にする。さらに癒痕例などの困難例に対処する上でも重要である。講演では高周波設定条件を含めた基本を今一度整理し困難例への対処も含め早期胃癌ESDにおける諸条件を提示する。

〈学歴および職歴〉

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部

学歴

1989年3月 愛媛大学医学部医学科卒業

職歴

1989年6月 岸和田徳洲会病院

1997年9月 同院 内科医長

2004年1月 滋賀医科大学 非常勤講師

2004年3月 岸和田徳洲会病院 消化器内科部長

2007年7月 神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部長・准教授

所属学会等

日本内科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本超音波医学会、日本救急医学会、日本胃癌学会、日本食道学会

資格

日本内科学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本超音波医学会専門医、日本救急医学会専門医、死体解剖資格認定

役職

日本消化器内視鏡学会：評議員・査読委員、日本食道学会：評議員

Acta Endoscopica Editorial Board. Advisory Professor of Konkuk University Medical Center, Seoul, Korea

シンポジウム 1

消化管疾患における内視鏡的診断・治療の工夫と進歩

司会：愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部 丹羽康正
三重大学医学部附属病院 光学医療診療部 堀木紀行

2F 第1会場

9：00～11：30

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

■第1会場

シンポジウム1 9:00~11:30

司会：愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部 丹羽康正
三重大学医学部附属病院 光学医療診療部 堀木紀行

- S1-1 スクリーニング内視鏡における口腔内腫瘍発見のためのNBI観察の有用性について
藤田保健衛生大学病院 消化管内科
○角 一弥、柴田知行、平田一郎
- S1-2 頭頸部癌のELPS治療例の検討
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科¹⁾、内視鏡部²⁾
○藤吉俊尚¹⁾、田中 努²⁾、丹羽康正²⁾
- S1-3 胃粘膜下腫瘍における内視鏡的粘膜切開生検法の有用性
浜松医科大学 第一内科¹⁾、光学医療診療部²⁾
○谷 伸也¹⁾、杉本 健¹⁾、大澤 恵²⁾
- S1-4 当院における十二指腸腫瘍性病変に対する内視鏡診断と治療
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学¹⁾、
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾
○横山敬史¹⁾、宮原良二¹⁾、後藤秀実²⁾
- S1-5 当院におけるパテンシーカプセルの使用状況と有用性の検討
三重大学医学部附属病院 光学医療診療部
○田野俊介、葛原正樹、竹井謙之
- S1-6 当院におけるパテンシーカプセルの使用経験とその有用性
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
○尾関啓司、片岡洋望、城 卓志
- S1-7 小腸バルーン内視鏡にて認めた血管性病変に関する検討
岐阜大学 医学部 消化器病態学
○井深貴士、荒木寛司、森脇久隆
- S1-8 当院における大腸憩室出血の現状と造影CTの有用性の検討
春日井市民病院 消化器科
○尾関貴紀、平田慶和、祖父江聡

- S1-9 結腸憩室出血における緊急内視鏡の有用性と臨床的介入の必要性に関連する因子の検討
岐阜県立多治見病院 消化器内科
○岩崎弘靖、水島隆史、佐野 仁
- S1-10 バイポーラシステム（B-knife）による大腸ESD
三重県立総合医療センター 消化器内科
○井上英和、大矢由美、高瀬幸次郎
- S1-11 当院における大腸ESDの現状
土岐市立総合病院
○安田 諭、白井 修、清水 豊
- S1-12 大腸ESDにおける穿孔予測因子に関する検討
静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科
○今井健一郎、堀田欣一、小野裕之
- S1-13 当院における大腸悪性腫瘍に対する内視鏡的大腸ステント留置術の検討
国立病院機構名古屋医療センター 消化器科
○桶屋将之、島田昌明、岩瀬弘明
- S1-14 当院で経験した大腸癌イレウスに対する術前金属ステントと経肛門的イレウス管の検討
伊勢赤十字病院 消化器内科
○山村光弘、福家博史、川口真矢
- S1-15 大腸癌閉塞に対するBridge to Surgery－経肛門的イレウス管とステントの比較－
名古屋第二赤十字病院 消化器内科¹⁾、一般消化器外科²⁾
○山田智則¹⁾、折戸悦朗¹⁾、長谷川洋²⁾
- S1-16 小児消化管内視鏡検査の臨床的検討
名古屋市立西部医療センター 消化器内科
○木村吉秀、土田研司、妹尾恭司

シンポジウム2

胆膵内視鏡における診断・治療の工夫と進歩

司会：岐阜大学大学院医学系研究科 地域腫瘍学 安田一朗
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 中沢貴宏

2F 第1会場

14：30～17：00

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

- S2-1 Biliary deep cannulation困難症例における膵管ガイドワイヤー留置法 vs Wire-guided cannulationの中間成績
名古屋第二赤十字病院 消化器内科¹⁾、
名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学²⁾
○坂 哲臣¹⁾、折戸悦朗¹⁾、大原弘隆²⁾
- S2-2 胆管挿入困難例に対する膵管ガイドワイヤー下に通常型パピロトミーナイフを用いた乳頭precuttingの試み
春日井市民病院 消化器科
○池内寛和、高田博樹、祖父江聡
- S2-3 当院における胆管細胞診の工夫
静岡がんセンター
○杉本真也、松林宏行、小野裕之
- S2-4 総胆管結石に対する内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術（EPLBD）による採石術の検討
蒲郡市民病院 消化器内科¹⁾、
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学²⁾
○佐宗 俊¹⁾、安藤朝章¹⁾、中沢貴宏²⁾
- S2-5 当院での総胆管結石の内視鏡的治療における内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術（EPLBD）の位置付け
三重中央医療センター 消化器科
○子日克宣、亀井 昭、渡邊典子
- S2-6 総胆管結石治療困難例に対するEndoscopic papillary large balloon dilationの治療成績
岐阜県総合医療センター 消化器内科¹⁾、
岐阜大学医学部附属病院 第一内科²⁾
○山内貴裕¹⁾、岩田圭介¹⁾、安田一朗²⁾

- S2-7 バルーン内視鏡を用いた術後再建腸管症例に対するERC関連手技の有用性と課題
 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学¹⁾、
 名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾、
 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・
 名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部³⁾
 ○林大樹朗¹⁾、廣岡芳樹²⁾、後藤秀実³⁾
- S2-8 術後変更解剖症例の胆管結石に対するEUS下順行性治療
 岐阜大学医学部附属病院 第一内科
 ○岩下拓司、安田一朗、森脇久隆
- S2-9 悪性中下部胆道閉塞に対する12mm経胆道ステントの有用性と安全性の検討
 静岡県立総合病院 消化器内科
 ○山田友世、菊山正隆
- S2-10 膵石治療におけるESWL前膵管ステント留置の有用性
 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学¹⁾
 名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学²⁾
 ○近藤 啓¹⁾、内藤 格¹⁾、大原弘隆²⁾
- S2-11 造影EUS-FNAの有用性
 豊橋市民病院 消化器内科
 ○竹山友章、松原 浩、浦野文博
- S2-12 当院における膵病変に対するEUS-FNAの検討
 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
 ○梅村修一郎、内藤 格、中沢貴宏
- S2-13 EUS-FNAにおける逆刃付側孔を有する穿刺針の診断能の検討
 岐阜県立多治見病院 消化器内科
 ○井上匡央、奥村文浩、佐野 仁
- S2-14 通常型膵癌に対する術前EUS-FNAの診断能と再発に及ぼす影響の検討
 愛知県がんセンター中央病院 消化器内科
 ○堤 英治、原 和生、肱岡 範
- S2-15 当院におけるInterventional EUSの現状
 公立学校共済組合東海中央病院 消化器内視鏡センター
 ○水谷泰之、大塚裕之、石川英樹

一 般 演 題

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

■第2会場

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

胃1 9:00~9:54

座長：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 久保田英嗣

- Y-1 H.pylori除菌にて改善した蛋白漏出性胃腸症の1例
豊橋市民病院 消化器内科
○廣瀬 崇、山本英子、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、松原 浩、竹山友章、田中 卓、芳川昌功、鈴木博貴、木下雄貴、岡村正造
- Y-2 アニサキスが原因と考えられる胃重積の1例
名古屋記念病院 消化器内科
○高田真由子、村上賢治、鈴木重行、中舘 功、宮良幸子、河辺健太郎、神谷 聡
- Y-3 塗り箸を内視鏡的に摘出し得た1例
岐阜市民病院 消化器内科¹⁾、同 麻酔科、災害医療²⁾
○高木結衣¹⁾、渡邊千晶¹⁾、渡邊 諭¹⁾、黒部拓也¹⁾、渡部直樹¹⁾、中島賢憲¹⁾、鈴木祐介¹⁾、小木曾富生¹⁾、川出尚史¹⁾、向井 強¹⁾、林 秀樹¹⁾、杉山昭彦¹⁾、西垣洋一¹⁾、加藤則廣¹⁾、富田栄一¹⁾、上田宣夫²⁾
- Y-4 内視鏡的粘膜下層剥離術にて胃Mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC) と診断した1例
半田市立半田病院
○水野和幸、神岡諭郎、日下真宏、春田明範、山田啓策、川口 彩、岩下紘一、森井正哉、大塚泰郎、肥田野等
- Y-5 アルゴンプラズマ凝固療法 (APC) で出血のコントロールが可能となった脾体部癌術後の放射線性胃炎、大腸炎の1例
木沢記念病院 総合診療科¹⁾、同 消化器科²⁾、同 外科³⁾
○吉田健作¹⁾、杉山誠治¹⁾、杉山 宏²⁾、安田陽一²⁾、中川貴之²⁾、足達広和²⁾、尾関 豊³⁾、堀田亮輔³⁾
- Y-6 内視鏡的止血処置が必要な静脈瘤を除く上部消化管出血患者の予測因子の検討
名古屋第二赤十字病院 消化器内科¹⁾、県立多治見病院 消化器内科²⁾
○鈴木祐香¹⁾、岩崎弘靖²⁾、柴田俊輔¹⁾、小島一星¹⁾、野尻 優¹⁾、吉峰 崇¹⁾、藤田恭明¹⁾、野村智史¹⁾、金本高明¹⁾、日下部篤宣¹⁾、蟹江 浩¹⁾、坂 哲臣¹⁾、山田智則¹⁾、林 克巳¹⁾、折戸悦朗¹⁾

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

食道1 9:54~10:30

座長：名古屋第二赤十字病院 消化器内科 山田智則

- Y-7 糖尿病性ケトアシドーシスを契機に発症した急性壊死性食道炎
国立病院機構 名古屋医療センター 消化器内科
○久野剛史、後藤百子、水田りな子、浦田 登、江崎正哉、加藤文一郎、
喜田裕一、田中優作、龍華庸光、桶屋将之、都築智之、島田昌明、
平嶋 昇、岩瀬弘明
- Y-8 食道狭窄を来たし内視鏡的バルーン拡張術にて対応した急性壊死性食道炎の
1例
岐阜赤十字病院 消化器内科¹⁾、放射線科²⁾
○杉江岳彦¹⁾、高橋裕司¹⁾、出田貴康¹⁾、松下知路¹⁾、伊藤陽一郎¹⁾、
名倉一夫¹⁾、後藤裕夫²⁾
- Y-9 良性食道狭窄に対する一時的ステント留置法の可能性
豊橋市民病院 消化器内科
○芳川昌功、山本英子、浦野文博、廣瀬 崇、鈴木博貴、田中 卓、
竹山友章、松原 浩、山田雅弘、内藤岳人、藤田基和、岡村正造
- Y-10 内視鏡的粘膜下層剥離術にて切除し得た食道顆粒細胞腫の1例
岐阜県立多治見病院
○福定繁紀、水島隆史、市川 紘、鈴木雄太、井上匡央、加地謙太、
安部快紀、岩崎弘靖、西江裕忠、西 祐二、奥村文浩、佐野 仁

■第3会場

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

大腸1 9:00~9:54

座長：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 渡辺 修

- Y-11 静脈硬化性大腸炎の1例
藤枝市立総合病院 消化器内科
○山本晃大、景岡正信、丸山保彦、大島昭彦、志村輝幸、宇於崎宏城、金子雅直
- Y-12 多彩な内視鏡像を示した腸管マントル細胞リンパ腫の1例
蒲郡市民病院 消化器内科¹⁾、
名古屋大学アイソトープ総合センター²⁾
○成田幹誉人¹⁾、成田 圭¹⁾、佐宗 俊¹⁾、小田雄一¹⁾、安藤朝章¹⁾、
安達興一²⁾
- Y-13 上行結腸に腫瘤を形成したアメーバ腸炎の1例
豊橋市民病院
○片岡邦夫、山田雅弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山本英子、
松原 浩、竹山友章、田中 卓、鈴木博貴、廣瀬 崇、芳川昌功、
木下雄貴、岡村正造
- Y-14 多量の血便を来したカンピロバクター腸炎の2例
岐阜県立多治見病院 消化器内科
○市川 紘、水島隆史、鈴木雄太、福定繁紀、井上匡央、加地謙太、
安部快紀、岩崎弘靖、西江裕忠、奥村文浩、佐野 仁
- Y-15 サイトメガロウイルスが2次的に感染したと考えられた虚血性大腸炎の1例
蒲郡市民病院 消化器内科
○成田 圭、安田聡史、成田幹誉人、佐宗 俊、小田雄一、安藤朝章
- Y-16 転移性進行大腸癌に対しXELOX +Bevacizumab投与中に十二指腸穿孔を
来した1例
愛知医科大学 消化器内科
○近藤 力、野田久嗣、徳留健太郎、野原真子、長尾一寛、下郷彰礼、
山口純治、柳本研一郎、田村泰弘、増井竜太、小笠原尚高、
佐々木誠人、春日井邦夫

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

十二指腸・その他 9:54~10:30

座長：春日井市民病院 消化器科 平田慶和

- Y-17 Brunner腺由来と考えられた胃型粘液形質を発現する十二指腸癌の1例
名古屋市立東部医療センター 消化器内科
○佐橋秀典、北川美香、荒木幸子、浅野 剛、川村百合加、今井宗憲、
田中義人、伊藤恵介、長谷川千尋、川合 孝
- Y-18 ガストリノーマを疑い手術を行った難治性潰瘍の1例
名古屋市立西部医療センター 消化器内科
○中西和久、足立和規、稲垣佑祐、山川慶洋、小島尚代、平野敦之、
河合宏紀、木村吉秀、土田研司、妹尾恭司
- Y-19 EUS-FNAで診断し得た十二指腸原発平滑筋肉腫の1例
名古屋市立東部医療センター 消化器内科
○浅野 剛、伊藤恵介、荒木幸子、佐橋秀典、川村百合加、北川美香、
今井宗憲、田中義人、長谷川千尋、川合 孝
- Y-20 バルーン閉塞下の内視鏡的静脈瘤硬化療法結紮術併用療法（EISL）が
有効であった十二指腸静脈瘤破裂の1例
春日井市民病院
○管野琢也、祖父江聡、高田博樹、平田慶和、望月寿人、池内寛和、
尾関貴紀、杉山智哉、羽根田賢一、奥田悠介

■第4会場

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

膵臓1 9:00～9:36

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 川嶋啓揮

- Y-21 超音波内視鏡にて特徴的な所見を呈した膵神経内分泌腫瘍の1例
静岡県立総合病院
○佐藤友理、菊山正隆、白根尚文、黒上貴史、山田友世、重友美紀、
青山春奈、榎田浩平
- Y-22 膵粘液性嚢胞腫瘍とリンパ上皮嚢胞を合併した1例
静岡県立総合病院 消化器内科
○青山春奈、菊山正隆、鈴木直之、白根尚文、黒上貴史、山田友世、
重友美紀、榎田浩平
- Y-23 十二指腸重複腸管に対する広範囲胃切除後の膵液瘻に対し経乳頭的膵管
ドレナージが有効であった1例
静岡県立総合病院 消化器内科
○榎田浩平、菊山正隆、青山春奈、重友美紀、山田友世、黒上貴史、
白根尚文
- Y-24 閉塞性黄疸に対しENBDチューブ留置後膵炎を遷延し膵管ステント留置により
著明に改善した膵頭部癌の1例
協立総合病院 消化器内科¹⁾、外科²⁾
○小西隆文¹⁾、高木 篤¹⁾、森 智子¹⁾、名和晋輔¹⁾、江間幸雄¹⁾、
中澤幸久²⁾

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

胆道1 9:36~10:21

座長：三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 井上宏之

- Y-25 吐血にて発症した胆嚢十二指腸瘻の1例
トヨタ記念病院 消化器科
○曾田智大、山田健太郎、宇佐美彰久、森島賢治、村山 睦、鈴木貴久、高士ひとみ、篠田昌孝
- Y-26 胸腺腫瘍・肝転移術後に認められた胆嚢管断端神経腫の1例
静岡県立総合病院 消化器内科
○鈴木利章、菊山正隆、青山春奈、榎田浩平、重友美紀、山田友世、黒上貴史、白根尚文
- Y-27 SpyGlassによる経口的胆道鏡検査を行った肝内胆管癌の1例
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 消化器内科¹⁾、同外科・小児外科²⁾
○細川千佳生¹⁾、芳野純治¹⁾、乾 和郎¹⁾、若林貴夫¹⁾、片野義明¹⁾、三好広尚¹⁾、小林 隆¹⁾、小坂俊仁¹⁾、友松雄一郎¹⁾、山本智支¹⁾、松浦弘尚¹⁾、成田賢生¹⁾、鳥井淑敬¹⁾、森 智子¹⁾、安江裕二¹⁾、黒川雄太¹⁾、守瀬善一²⁾
- Y-28 当院における内視鏡的乳頭大径バルーン拡張術（Endoscopic papillary large-balloon dilation：EPLBD）を用いた総胆管結石治療における検討
名古屋第二赤十字病院 消化器内科
○柴田俊輔、坂 哲臣、鈴木祐香、野尻 優、吉峰 崇、藤田恭明、野村智史、金本高明、日下部篤宣、蟹江 浩、山田智則、林 克巳、折戸悦朗
- Y-29 EPLBDにより大出血をきたした1例
岐北厚生病院 消化器内科¹⁾、岐阜大学病院 消化器内科²⁾
○奥野 充¹⁾、堀部陽平¹⁾、足立政治¹⁾、岩間みどり¹⁾、山内 治¹⁾、齋藤公志郎¹⁾、安田一朗²⁾

若手研究者優秀演題奨励賞選定セッション

小腸1 10:21~10:48

座長：愛知医科大学病院 消化器内科 小笠原尚高

- Y-30 HIV感染に合併したリンパ腫
藤枝市立総合病院 消化器内科
○馬場勇氣、宇於崎宏城、金子雅直、志村輝幸、大畠昭彦、景岡正信、丸山保彦
- Y-31 ダブルバルーン小腸内視鏡により術前に診断し得た内翻性Meckel憩室による腸重積の1例
岐阜県立多治見病院 消化器内科¹⁾、消化器外科²⁾
○鈴木雄太¹⁾、水島隆史¹⁾、市川 紘¹⁾、福定繁紀¹⁾、井上匡央¹⁾、加地謙太¹⁾、安部快紀¹⁾、岩崎弘靖¹⁾、西江裕忠¹⁾、奥村文浩¹⁾、佐野 仁¹⁾、山中雅也²⁾、梶川真樹²⁾
- Y-32 当院におけるカプセル内視鏡検査の現状
豊橋市民病院 消化器内科
○鈴木博貴、山田雅弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山本英子、松原 浩、竹山友章、田中 卓、廣瀬 崇、芳川昌功、岡村正造

■第2会場

食道2 10:30~11:24

座長：静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 滝沢耕平

- 1 食道嵌頓にて発症した柿胃石の1例
豊橋市民病院 消化器内科
○田中 卓、山田雅弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山本英子、
松原 浩、竹山友章、鈴木博貴、廣瀬 崇、芳川昌功、木下雄貴、
岡村正造
- 2 クリゾチニブ投与後に発症した食道潰瘍の1例
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
○澤田 武、海老正秀、林 則之、片野敬仁、濱野真吾、田中 守、
西脇裕高、尾関啓司、塚本宏延、溝下 勤、森 義徳、久保田英嗣、
谷田諭史、片岡洋望、城 卓志
- 3 側視鏡挿入時に食道入口部で穿孔を来たし縦隔気腫、気胸を来たすも保存的に
治療し得た1例
協立総合病院 消化器内科¹⁾、外科²⁾
○名和晋輔¹⁾、高木 篤¹⁾、江間幸雄¹⁾、森 智子¹⁾、小西隆文¹⁾、
中澤幸久²⁾
- 4 ESDにて切除したBarrett食道癌の1例
名古屋セントラル病院
○小宮山琢真、安藤伸浩、真鍋孔透、長谷川恒輔、山田弘武、山内浩揮
- 5 ESDで一括切除可能であった全周性表在型Barrett食道腺癌の2例
静岡県立静岡がんセンター
○田中泰敬、滝沢耕平、田中雅樹、角嶋直美、川田 登、新城邦裕、
岸田圭弘、五十嵐公洋、杉本真也、吉田将雄、今井健一郎、堀田欣一、
松林宏行、小野裕之
- 6 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）後の胃・食道狭窄に対する内視鏡的拡張術時
の偶発症に関する検討
静岡県立静岡がんセンター
○岸田圭弘、角嶋直美、田中雅樹、滝沢耕平、川田 登、田中泰敬、
五十嵐公洋、杉本真也、吉田将雄、新城邦裕、今井健一郎、
堀田欣一、松林宏行、小野裕之

- 7 主膵管狭窄を伴った主膵管型IPMNの1切除例
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学¹⁾
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾
○桑原崇通¹⁾、廣岡芳樹²⁾、伊藤彰浩¹⁾、川嶋啓揮¹⁾、
大野栄三郎²⁾、杉本啓之¹⁾、鷺見 肇¹⁾、林大樹朗¹⁾、
森島大雅¹⁾、河合 学¹⁾、古川和宏¹⁾、舩坂好平²⁾、中村正直¹⁾
宮原良二¹⁾、後藤秀実^{1)、2)}
- 8 2年の経過観察後に切除されたTS1膵癌の1例
公立学校共済組合東海中央病院 消化器内視鏡センター
○田中浩敬、大塚裕之、水谷泰之、石川英樹
- 9 術前診断が困難であった膵嚢胞の1例
三重大学附属病院 消化器・肝臓内科¹⁾、光学医療診療部²⁾、
肝胆膵・移植外科³⁾
○山田玲子¹⁾、井上宏之¹⁾、野尻圭一郎¹⁾、田野俊介²⁾、濱田康彦²⁾、
葛原正樹²⁾、堀木紀行²⁾、臼井正信³⁾、伊佐地秀司³⁾、竹井謙之¹⁾
- 10 膵管内に迷入した膵管ステントを内視鏡的に抜去した1例
名古屋市立西部医療センター
○足立和規、平野敦之、中西和久、稲垣佑祐、山川慶洋、小島尚代、
河合宏紀、木村吉秀、土田研司、妹尾恭司

- 11 内視鏡的経鼻膵管ドレナージ術が奏功した膵性腹水の1例
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学¹⁾、
名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学²⁾
○梅村修一郎¹⁾、加藤晃久¹⁾、堀 寧¹⁾、山下宏章¹⁾、西 祐二¹⁾、
近藤 啓¹⁾、清水周哉¹⁾、宮部勝之¹⁾、内藤 格¹⁾、林 香月¹⁾、
中沢貴宏¹⁾、大原弘隆²⁾、城 卓志¹⁾
- 12 EUS-FNA後に穿破し化学性腹膜炎をきたした膵頭部後方の嚢胞性病変の1例
静岡県立静岡がんセンター
○松林宏行、岸田圭弘、田中泰敬、新城邦裕、杉本真也、吉田将雄、
五十嵐公洋、川田 登、今井健一郎、堀田欣一、田中雅樹、滝沢耕平、
角嶋直美、小野裕之
- 13 EUS-FNAにて術前tattooingを行った神経内分泌腫瘍の1例
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科
○野尻圭一郎、井上宏之、山田玲子、原田哲朗、北出 卓、田野俊介、
葛原正樹、濱田康彦、田中匡介、堀木紀行、竹井謙之
- 14 猪瀬型肝性脳症に対してB-RTOが著効した1例
西美濃厚生病院
○福田和史、中村博式、岩下雅秀、田上 真、畠山啓朗、林 隆夫、
前田晃男、西脇伸二

第3会場

胆道2 10:30~11:15

座長：静岡県立総合病院 消化器内科 黒上貴史

- 15 肝内胆管腺腫の1例
静岡市立静岡病院
○近藤貴浩、白鳥安利、諏訪兼彦、黒石健吾、吉川恵史、大野和也、濱村啓介、高橋好朗、田中俊夫、小柳津竜樹
- 16 ダブルバルーン内視鏡下バルーン拡張が有効であった胆管空腸吻合部狭窄の1例
藤田保健衛生大学 肝胆膵内科¹⁾、藤田保健衛生大学 消化管内科²⁾
○中岡和徳¹⁾、大宮直木²⁾、橋本千樹¹⁾、川部直人¹⁾、原田雅生¹⁾、村尾道人¹⁾、新田佳史¹⁾、中野卓二¹⁾、嶋崎宏明¹⁾、水野裕子¹⁾、菅 俊樹¹⁾、大城昌史¹⁾、高川友花¹⁾、平田一郎²⁾、吉岡健太郎¹⁾
- 17 腹腔鏡下胆嚢摘出術における胆管損傷に対し磁石圧迫吻合術が有用であった1例
名古屋市立東部医療センター 消化器内科¹⁾、同 消化器外科²⁾
○川村百合加¹⁾、伊藤恵介¹⁾、佐橋秀典¹⁾、荒木幸子¹⁾、浅野 剛¹⁾、服部かおり²⁾、北川美香¹⁾、今井宗憲¹⁾、田中義人¹⁾、長谷川千尋¹⁾、川合 孝¹⁾
- 18 肝門部悪性胆道狭窄に対するside by side法でのZilver 635®の使用経験
岐阜県立多治見病院 消化器内科
○安部快紀、市川 紘、鈴木雄太、福定繁紀、井上匡央、加地謙太、岩崎弘靖、西江裕忠、西 祐二、水島隆史、奥村文浩、佐野 仁
- 19 Covered self-expandable metal stent留置により止血し得たEST後出血の1例
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学¹⁾、名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学²⁾
○清水周哉¹⁾、内藤 格¹⁾、中沢貴宏¹⁾、林 香月¹⁾、宮部勝之¹⁾、近藤 啓¹⁾、山下宏章¹⁾、堀 寧¹⁾、梅村修一郎¹⁾、大原弘隆²⁾、城 卓志¹⁾

- 20 亜有茎性の粘膜下腫瘍様の形態を呈したGastritis cystica polyposaの1例
聖隷浜松病院 消化器内科
○田村 智、佐藤嘉彦、海野修平、瀧浪将貴、小林陽介、木全政晴、
芳澤 社、館野 誠、室久 剛、熊岡浩子、清水恵理奈、細田佳佐、
長澤正通
- 21 ESDを施行し確定診断に至った胃IFPの1例
聖隷浜松病院 消化器内科
○芳澤 社、佐藤嘉彦、海野修平、瀧浪将貴、田村 智、小林陽介、
木全政晴、館野 誠、室久 剛、熊岡浩子、清水恵理奈、細田佳佐、
長澤正通
- 22 EUS下ドレナージを試みた急性輸入脚症候群の1例
伊勢赤十字病院 消化器内科
○川口真矢、伊藤達也、村林桃士、三浦広嗣、高見麻佑子、山本 玲、
山村光弘、東谷光庸、大山田純、福家博史
- 23 十二指腸隆起性病変との鑑別に苦慮したDouble Pylorusの1例
NTT西日本東海病院 内科¹⁾、岩田内科医院²⁾
○山田尚史¹⁾、加藤晃久¹⁾、塚田勝比古¹⁾、武内俊彦¹⁾、岩田章裕²⁾
- 24 当院における胃底腺型胃癌の検討
医療法人社団以心会 中野胃腸病院
○榊原一貴、深尾俊一、奥嶋一武、安藤拓也、前田頼佑、林 久乃、
神谷賢吾、山崎雅彦、横田広子
- 25 早期胃癌深達度診断における内視鏡所見についての検討
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
○海老正秀、志村貴也、西脇裕高、塚本宏延、尾関啓司、澤田 武、
田中 守、片野敬仁、林 則之、濱野真吾、溝下 勤、久保田英嗣、
森 義徳、谷田諭史、片岡洋望、城 卓志

- 26 内視鏡的に切除した胃Hamartomatous inverted polypの1例
東海病院 内科
○北村雅一、濱宇津吉隆、加藤 亨、三宅忍幸、丸田真也
- 27 異時性多発胃転移に対し内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）で切除した平滑筋肉腫の1例
聖隷浜松病院 消化器内科¹⁾、病理診断科²⁾
○小林陽介¹⁾、海野修平¹⁾、瀧浪将貴¹⁾、田村 智¹⁾、木全政晴¹⁾、
芳澤 社¹⁾、館野 誠¹⁾、室久 剛¹⁾、熊岡浩子¹⁾、清水恵理奈¹⁾、
細田佳佐¹⁾、長澤正通¹⁾、佐藤嘉彦¹⁾、清水進一²⁾、大月寛郎²⁾
- 28 化学療法後の胃狭窄に対しトリウムシノロン局注が有効であった
胃悪性リンパ腫の1例
JA静岡厚生連 遠州病院
○西野真史、白井直人、松下直哉、高垣航輔、竹内靖雄、梶村昌良
- 29 胃瘻造設に工夫を要した2例
名古屋徳洲会総合病院 消化器内視鏡センター
○永井進吾、高山 悟
- 30 当院における腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の1例
（内視鏡医の視点から）
三重中央医療センター 消化器科¹⁾、三重中央医療センター 外科²⁾
○亀井 昭¹⁾、子日克宣¹⁾、渡邊典子¹⁾、長谷川浩司¹⁾、横井 一²⁾

第4会場

小腸2 10:48~11:06

座長：愛知医科大学病院 消化器内科 小笠原尚高

31 小腸pyogenic granulomaの1例

三重大学医学部附属病院 光学医療診療部¹⁾、消化器肝臓内科²⁾

○北出 卓¹⁾、葛原正樹¹⁾、十時利明²⁾、原田哲朗²⁾、野尻圭一郎²⁾、
田野俊介¹⁾、山田玲子²⁾、井上宏之²⁾、濱田康彦¹⁾、田中匡介¹⁾、
堀木紀行¹⁾、竹井謙之²⁾

32 上部消化管内視鏡検査前処置薬プロナーゼにてアレルギー性腸炎をきたした1例

愛知医科大学 消化器内科 消化管部門

○下郷彰礼、松本朋子、鳥井貴司、井上智司、近藤 力、木村幹俊、
北洞洋樹、郷治滋希、山口純治、柳本研一郎、田邊敦資、野田久嗣、
田村素弘、近藤好博、伊藤義紹、井澤晋也、増井竜太、土方康孝、
徳留健太郎、河村直彦、飯田章人、舟木 康、小笠原尚高、
佐々木誠人、春日井邦夫

- 33 クリニックにおける新しい大腸内視鏡検査前処置薬（モビプレップ®）の使用
経験
瀧消化器内科クリニック
○瀧 智行
- 34 上・下部消化管内視鏡の同日連続実施における鎮静薬使用時の呼吸・循環動態
の変化
名古屋共立病院 消化器化学療法科¹⁾、同 消化器内科²⁾
○栗本拓也¹⁾、須藤晃佑²⁾、中村大樹²⁾、山内章裕²⁾
- 35 腫瘍径が50mmを超える大腸腫瘍に対するESDの検討
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
○西脇裕高、海老正秀、田中 守、塚本宏延、尾関啓司、溝下 勤、
澤田 武、森 義徳、久保田英嗣、谷田論史、片岡洋望、城 卓志
- 36 Blue LASER Imaging (BLI) 拡大観察を用いた大腸腫瘍の診断能について
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学¹⁾、
名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾
○中野有泰¹⁾、中村正直¹⁾、山村健史¹⁾、山田弘志¹⁾、名倉明日香²⁾、
吉村 透¹⁾、大島啓嗣¹⁾、古川和宏¹⁾、船坂好平²⁾、大野栄三郎²⁾、
宮原良二¹⁾、川嶋啓揮¹⁾、伊藤彰浩¹⁾、廣岡芳樹²⁾、渡辺 修¹⁾、
前田 修¹⁾、安藤貴文¹⁾、後藤秀実^{1) 2)}

- 37 通常生検では診断できず高周波スネアを用いた円柱状切り出し生検により術前診断した大腸悪性リンパ腫の1例
協立総合病院 内科¹⁾、外科²⁾
○森 智子¹⁾、高木 篤¹⁾、名和晋輔¹⁾、小西隆文¹⁾、江間幸雄¹⁾、中澤幸久²⁾
- 38 上行結腸癌イレウスに対し、経鼻イレウス管を利用したランデブー法にてステント留置をし得た1例
静岡市立清水病院 消化器内科
○松浦友春、窪田裕幸、高柳泰宏、池田 誉、小池弘太
- 39 虫垂子宮内膜症の1例
藤枝市立総合病院 消化器内科¹⁾、同 外科²⁾
○宇於崎宏城¹⁾、金子雅直¹⁾、志村輝幸¹⁾、大島昭彦¹⁾、景岡正信¹⁾、丸山保彦¹⁾、姜 建宇²⁾、小山 真²⁾
- 40 全大腸内視鏡検査にて診断し得たジアルジア症の1例
JA岐阜厚生連 西美濃厚生病院 内科
○高橋浩子、福田和史、岩下雅秀、田上 真、畠山啓朗、林 隆夫、前田晃男、西脇伸二
- 41 アザチオプリン治療中にクロストリジウム感染症を合併した潰瘍性大腸炎病の1例
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学
○前田啓子、安藤貴文、石黒和博、前田 修、渡辺 修、平山 裕、森瀬和宏、松下正伸、古川和宏、船坂好平、中村正直、宮原良二、後藤秀実